

報道関係各位
プレスリリース

2025 年 6 月 11 日
株式会社ゼロボード

ゼロボード | 6 月 18 日（水）経団連後援セミナー開催
「統合報告書の価値を読み解く
～投資家 × 支援現場 × データ、それぞれのリアルな視点から～」
～ 投資家視点は大和総研 山田雪乃氏が、
支援現場視点はエッジ・インターナショナル 黒原哲也氏が解説 ～

企業のサステナビリティ経営を支援する株式会社ゼロボード（東京都港区、代表取締役：渡慶次道隆、以下 当社）は、6 月 18 日（水）14 時より、経団連後援による無料のオンラインセミナー「統合報告書の価値を読み解く ～投資家 × 支援現場 × データ、それぞれのリアルな視点から～」を開催することをお知らせします。皆さまのご参加をお待ちしております。



■ 開催背景

近年では、統合報告書を作成・発信する企業が増えており、その背景には、財務情報と非財務情報（ESG 要素など）を統合的に開示することで、企業の中長期的な価値創造や持続可能な成長への姿勢を、投資家をはじめとする多様なステークホルダーに伝える必要性が高まっていることが挙げられます。

統合報告書は、企業の戦略やリスクマネジメント、ガバナンスの在り方を示す重要なツールであり、情報の質が高まるほど、企業の透明性・信頼性の向上、ひいてはステークホルダーとの良好な関係構築に寄与します。

一方で、「ステークホルダーにとって本当に価値ある報告書とは何か」という問いに直面している企業も少なくありません。

そこで今回、「投資家」「支援現場」「データ活用」それぞれの視点から、統合報告書の価値を改めて読み解きます。ぜひご参加ください。

■ 開催概要

セミナー名：【経団連後援】統合報告書の価値を読み解く～投資家 × 支援現場 × データ、それぞれのリアルな視点から～

開催日時：2025 年 6 月 18 日（水）14:00～15:00

申込み締め切り：2025 年 6 月 17 日（火）14:00

参加費：無料

開催方法：オンライン（ZOOM）

申し込みリンク：

https://www.zeroboard.jp/event/250618?utm_source=prtimes&utm_medium=pr&utm_campaign=webinar_202506

登壇者

【投資家評価視点】

株式会社大和総研 執行役員 調査本部リサーチ担当 山田 雪乃 氏



大和総研入社後、シンガポールや大和証券にて、シニアストラテジストとして海外金融市場等の投資戦略を機関投資家に提供。2020 年よりチーフ ESG ストラテジストとしてチームを率い、機関投資家が評価する Institutional Investors アナリストランキング「ESG リサーチ部門」で 3 年連続 1 位を達成。21～22 年「日経統合報告書アワード」審査員。24 年より金融庁「記述情報の開示の好事例に関する勉強会」メンバーとして、サステナビリティ情報の開示を推進。日本証券アナリスト協会認定アナリスト（CMA）、Sustainable Investing Certificate, CFA Institute, 2023 認定。

【支援現場視点】

株式会社エッジ・インターナショナル 常務執行役員

株式会社コンサイス・レポーティング 代表取締役社長 黒原 哲也 氏



京都大学法学部卒業後、2002 年に東海旅客鉄道株式会社に入社。現場研修を経て、東海鉄道事業本部経理課に配属。2004 年に財務部管理課に異動し、有価証券報告書作成業務に携わり、IR の基礎を学ぶ。2006 年、株式会社エッジ・インターナショナルに入社。アニュアルレポート、統合報告書をはじめとした IR ツールの企画・編集・原稿作成業務などに従事し、2021 年に執行役員に就任、当社の営業統括を担う。2023 年、株式会社コンサイス・レポーティングを設立。同社の代表取締役社長を務める。

【データ活用視点】

株式会社ゼロボード 営業本部 事業戦略室 室長 兼 CEO 室 特命部長 福田 匡史



ソフトバンク株式会社 法人領域新規事業開発部門にて国内外のスタートアップ〜大企業と AI・IoT 技術を利用した提携プロジェクト・組織をリード。株式会社リクルート 国内事業部門にて事業データを活用した新規事業開発を推進。金融分野で大手金融機関との大型合併事業の立ち上げ、大手顧客企業との提携交渉を推進。2022 年 7 月、ESG 情報管理ソリューションの株式会社 Dataseed を創業。2024 年 7 月、事業譲渡によりゼロボードに参画。北海道大学大学院 環境資源学修士号取得（カーボントレード・森林認証）。

■ ゼロボード×エッジ・インターナショナルによる ESG 情報開示支援

当社と株式会社エッジ・インターナショナルは、2024 年 11 月に ESG 情報開示における業務提携契約を締結しており、ESG 関連情報の収集から開示支援、統合報告書の制作やディレクションまで、シームレスな支援サービスが提供可能となりました。

企業とそのサプライヤーからの ESG データ収集は当社が、開示のための統合報告書のストーリー制作や言語化といった制作およびディレクションはエッジ・インターナショナルが提供することで、情報開示を包括的に支援しております。

関連プレスリリース：<https://www.zeroboard.jp/news/20241112>

■ 会社概要

社 名：株式会社ゼロボード | Zeroboard Inc. (<https://www.zeroboard.jp/>)
所 在 地：東京都港区三田三丁目 5-27 住友不動産東京三田サウスタワー10 階
代 表 者：代表取締役 渡慶次道隆
設 立：2021 年 8 月 24 日
事 業 内 容：ESG 関連データの収集・管理・開示支援の総合クラウドソリューション「Zeroboard Sustainability Platform」の開発・提供／サステナビリティ経営に関するコンサルティング／ユーザーコミュニティ「All Aboard!」の運営

【企業向けウェビナー開催中】

当社では、サステナビリティ経営のためのウェビナーを毎月開催しています。国内外のサステナビリティの最新動向や、「Zeroboard」をはじめとした各種ソフトウェアの活用方法などを解説しております。詳しくは当社ウェブサイトのイベントページをご覧ください。

イベント一覧：<https://www.zeroboard.jp/event>

■ Zeroboard Sustainability Platform の概要

ESG 関連データの収集・管理・開示支援の総合クラウドソリューションです。豊富なプロダクトラインナップによって、ESG 開示をはじめとするサステナビリティ経営に必要なプロセスをシームレスに支援します。

- GHG（温室効果ガス）排出量算定と環境項目管理クラウドサービス「Zeroboard」
- ESG 法定開示クラウドサービス「Zeroboard ESG」
- バイヤーからサプライヤーに対する SAQ（Self-Assessment Questionnaire・自己評価アンケート）の収集・管理を効率化するクラウドサービス「Dataseed SAQ」



これらのプロダクトを中心に業界特化型のプロダクト、各種オプション機能、制度対応や複雑な算定のためのコンサルティングを提供し、企業のサステナビリティ経営を支援しています。

【本件に関するお問合せ先】

各商品・サービスについて（営業本部） sales@zeroboard.jp

報道やご取材について（広報） pr@zeroboard.jp